

確認テスト

所属 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_

**生活支援技術【生活支援全般】**

1) 筋力低下のある対象者について、「自立支援」を目標としている。そのため、入浴時は対象者に洗身、洗髪を任せ、介助者は見守りに徹した。この行為は適切でしょうか？

適切       不適切

2) 薬の内服介助をする際、対象者が粉の薬しか飲めないため、薬を潰したり、カプセルをはずしたりして飲んでもった。この行為は適切でしょうか？

適切       不適切

3) 便秘の場合、下剤を使うよりも前にできることは何でしょうか？

4) オムツを使用する前に、工夫すべきことは何でしょうか？

5) 電気毛布や湯たんぽは、直接皮膚と接触させてもよい。○か×か？

○       ×

確認テスト 解答・解説

1) 解答  不適切

<解説> できないことを見守るのは自立支援ではない。筋力低下のある対象者の場合、手が回らない場所や力が入らない場合の洗身・洗髪の介助を行うようにする。

2) 解答  不適切

<解説> 薬の形状を変えると吸収率が変わるため、必ず医療職に相談する。なお、薬を飲み込めず吐き出してしまった際には自己判断せず、どの薬を、どのくらい吐き出したのかを医療職に報告し、指示に従う。

3) 解答例 食事の工夫、排便習慣を持つ、運動する …など

<解説> すぐに下剤に頼るのではなく、排便の改善に努めることが先決。それでも便秘が改善しなければ、医師に相談して下剤の使用を検討する。

4) 解答例 ① ADL レベルに合わせた対応を検討する。

② 排泄のタイミングで声かけをする

<解説> ① 転倒の可能性が高くても、介助や見守りによって回避できるのであれば、対応を検討する。

② 対象者の尿意や便意が無くても、排泄チェックによりタイミングを把握することができる。

安易なオムツの使用は生活不活発病を引き起こす恐れがあるため注意する。

5) 解答  ×

<解説> 電気毛布や湯たんぽは高温にならないが、直接皮膚と接触させたり、長時間使用したりすると、低温やけどをしている場合がある。低温やけどは皮膚のかなり深いところまでやけどが達しているため、治るまでに長時間かかる。感覚障害のある対象者には、特に注意が必要。